

創立・設立の節目として、
または記念イベントと同時に、
思い出の記念誌・アルバムを作ませんか？



記念誌発行の
担当者選ばれたけど、
初めてだし、
何をどう進めていいのかわからなくない...



この様なお悩みも
すべて当社にお任せ下さい！

ご予算やご要望に合わせた、心のこもったアドバイスで、
しっかりサポートさせていただきます。

ご準備は半年~1年前から **必要な原稿や資料の収集をアドバイス。**

決めたコンセプトに沿って **企画から構成までご提案いたします。**

希望の期日に仕上げます **工程もしっかりと管理。**

ご希望のイメージを再現 **撮影もいたします。**

重厚感あふれる物からポップまで **デザインには自信があります！**

記念誌やアルバムを作る事で、
社会・地域への
アピールや、
社員の愛社精神にも
繋がります！

記念誌
記念アルバム

完全サポート!!

当社が長年培ったノウハウで、お客様の歴史をカタチに。

D-WAVE 3

大和写真工業(株)

本社 大阪府豊中市三和町4-3-1
高槻支店 大阪府高槻市明田町1-12

TEL 06-6331-1807(代)
TEL 072-681-1805(代)

FAX 06-6332-4453
FAX 072-681-1830

大和写真工業(株)が毎月お客様へ
印刷複写・デジタルのお役立ち情報をお届けします。

ディー・ウェーブ
D-WAVE
MONTHLY NEWS LETTER PRESS Vol.074

2014
3
March



ソチ五輪、日本は金1、銀4、銅3のメダルを獲得し、先月閉幕しました。
フィギュア羽生選手の金メダルの演技もすばらしかったのですが、何ととっても
浅田真央さんのフリーの演技に感動し、涙された方も多かったのでは？
前目の大きな失敗から気持ちを切り替え、自己最高点の演技を見せてくれた彼女
の強い精神力とスケートに対する熱い想い、この4年間努力しつづけた生き
ざまのようなものまで確かに伝わってきました。
たった数分間の演技でしたが、メダル以上のものを私たちにプレゼントしてく
れたように思います。
今はただただ”感動をありがとう”という気持ちでいっぱいです。

代表取締役 鶴井 宏尚

第1位に選ばれました!!

MOTOYA P-1グランプリ2014で

近畿の印刷会社が一同に集い、ポスターデザインのNo.1を競う、株式会社モトヤ様主催の「P-1 GRANDPRIX 2014大阪」が、今年もOMMビルで開かれました。今回のテーマは「We are No.1」。そしてなんと当社が見事優勝!!来場者の投票総数約2,000票のうち220票をいただきました。



モトヤ様より
賞状と副賞を授与



展示会会場にて、みなさん熱心にポスターをご覧になられていました。



まさかまさか、いくら優勝を目指していたとはいえ、本当にグランプリを戴けるなんて思ってもみなかったこと。本当に嬉しいです!

今回のテーマ「We are No.1」と聞いて真っ先に浮かんだのは、今年の1月で創刊6周年を迎えたばかりのこの「D-WAVE」。さっそく個性派揃いのデザイナー達が、その6年間の集大成をカタチにすべく制作開始。社内コンペを実施し、ベースとなるデザインが決定。そこからスタッフや社長の助言を戴きつつ、練って悩んで、何とか納得のいくモノに仕上がりました。

分かりやすくインパクトのあるデザイン、歴代D-WAVEに込められたスタッフの想いが伝わる表現方法は?と模索し、いままで発行したすべての号をミニチュアで見させて頂くこのカタチに辿り着きました。作業は大変時間のかかるものでしたが、妥協せずに創り上げて本当によかったと感じています。

今回はこのような素晴らしい賞を戴きましたが、これにおごらず、これからも「攻めのデザイン」で、積極的に作品展やデザインコンペに挑戦して行きたいと思っております!
(制作課・岸 康志)



Director 井上 亮介
Design & Copy 岸 康志
Concept Write 西矢 貴子
D-WAVE ALL Designer

わたしの元気のモト

楽しみだったり、こだわりだったり...
これがなくっちゃ!!という、スタッフのここ一番をご紹介します。

キルンワーク(ガラス工芸)

私の元気のモトはガラスの教室です。
毎週日曜日、大阪市立クラフトパークのキルンワーク教室に通い始めて4年目になります。
私がしているキルンワークというのは、いくつかの工程を経なければ作品ができません。とても手間がかかりますが、その分案から焼きあがって石膏型からガラスを割り出す時はとてもドキドキします。次はどんなものを作ろうかと、色々考えるのもまた楽しみの一つです。

ISO14001
活動レポート

ガソリン使用量の削減
営業車の燃費削減は今年度目標の15.2km/ℓに対して現在14.9km/ℓ残り2ヶ月で挽回するか! 一歩も余裕がなく厳しい状況ですが最後まで気を抜かず、燃費upを心がけます!(営業第1課・山田和弘)

